

4 研 修

当研究所は、農林水産省の養成研修の一つとして、農林水産省における経済関係行政の企画にあたるべき職員の養成を目的とする経済関係企画職員研修を、大臣官房秘書課長の委嘱により実施している。この研修は、昭和25年に農林事務次官の要請によって開始し、平成16年度は58回を数えるに至っている。

昨年度から見直しを行った研修課程を踏襲し、基礎理論を中心とした「基礎コース」及び行政ニーズに即した課題を中心とした「個別課題コース」を設定した。

研修の運営は当研究所に委任されており、当研究所では研修委員会を設けて、教科課程その他運営の大綱に関する事項を審議・検討し、実施している。研修委員会は、所長、次長、企画連絡室長、総務部長、各研究部長、政策研究調整官、研修課長、研修担当官及び所長が指名する研究員3名をもって構成されている。具体的な運営は、企画連絡室長吉田泰治、企画連絡室主任研究官立川雅司（研修担当官）、企画連絡室研修課長宮前正義が担当した。なお、平成13年度から試行的に経済関係企画職員研修課程の中で短期研修と位置づけた、都道府県の農政に携わる担当者を対象とした都道府県職員経済研修を行ってきたが、昨年度と同様に経済関係企画職員研修から分離し独自に実施した。

また、これらの研修結果を取りまとめた『研修実績及び研修生所感（第58回研修報告）』を発行した。本報告は、研修の実績及び受講した研修生の感想、意見等を収録した。

なお、本報告は、附として平成16年度都道府県職員経済研修報告も併せて記載した。

(1) 経済関係企画職員研修

1) 研修生

研修生は、経済関係行政の企画調整業務に従事している者又は将来同業務に従事させようとする者で、勤務成績優秀と認められ各部局長が推薦した者の中から大臣官房秘書課長の選定を経て決定された者である。

基礎コースは、16名が受講した。また、4名が一部科目の聴講者として受講した。個別課題コースは、2コースを実施し、a) パソコンによる統計分析は10名、b) リスクコミュニケーション入門は18名が受講した。

2) 研修期間

①基礎コース：平成16年5月25日～6月4日

②個別課題コース

a) パソコンによる統計分析：

平成16年7月13日～8月31日の毎週火曜日、但し8月17日は休講（全9回）

b) リスクコミュニケーション入門：

平成17年1月27日～2月18日、不定期開催、演習は2日間の連続開催（全5回）

3) 研修講義

①基礎コース

課 目	講 師	時間数
ミクロ・農業経済学	伊藤 順一 鬼木 俊次	12
マクロ経済学	林 岳	8
環境・公共経済学	小林 弘明（和光大学助教授）	8
国際経済学	山下 一仁（経済産業研究所）	8
農業金融論	木原 久（農林中金総合研究所）	5
政策評価の理論	吉井 邦恒	4

②個別課題コース

課 目	講 師	時間数
パソコンによる計量経済分析	稲葉 弘道（千葉大学教授）	14
リスクコミュニケーション入門	西尾 健 姫田 尚（農林水産省消費・安全局消費者情報官） 山田 友紀子（農林水産省消費・安全局消費・安全政策課長） 中嶋 康博（東京大学助教授） 木下 富雄（甲子園大学学長） 金川 智恵（甲子園大学教授） 竹西 亜古（甲子園大学助教授） 福井 誠（"） 吉野 絹子（神戸学院大学教授）	18

(2) 都道府県職員経済研修

1) 研修生

研修生は、都道府県の農政に関する業務に関わる者及び今後関わる可能性のある者を対象とし、所属長からの受講申込みを受け農林水産政策研究所長が決定した者である。平成16年度は、10県から申込みのあった11名が受講者に決定した。

2) 研修期間

平成16年5月10日～5月21日

3) 研修講義

分野	講義名	講師名	講義数
概論	農政講話	西尾 健	1
〃	農業白書入門	加藤 勝（大臣官房企画情報課）	1
構造問題	農業構造の変化と農地利用	小野 智昭	1
〃	地域活性化分析の手法と応用	橋詰 登	1
〃	人口問題と農業・農村	松久 勉	1
〃	新規就農と支援方策	江川 章	1
フードシステム	食品産業論	薬師寺 哲郎	2
〃	野菜の経済問題	香月 敏孝	1
〃	食品安全問題の経済分析	中嶋 康博（東京大学）	1
農協	農協概論	千葉 修	1
〃	農業金融の現状と課題	吉迫 利英（農村金融研究会）	1
環境	遺伝子組み換え作物の現状と問題	藤岡 典夫	1
〃	環境と農業	西澤 栄一郎（法政大学）	2
〃	農業と有機性循環	合田 素行	1
手法	産業連関分析入門	吉田 泰治	2
国際	WTO 農業交渉と日本農業	渡部 靖夫	2
〃	FTA の現状と課題	伊藤 正人	1
〃	アメリカ農業入門	立川 雅司	1
〃	EU 農業と直接支払い	市田 知子	1
〃	中国農業入門	河原 昌一郎	1
		講義数合計	24

注. 1講義は2時間.